

いきいきサロン

皆さんからの投稿でつくる、皆さんのページです

投稿募集中

お便り

改正法を順守し 自転車走行を

仙台市泉区 星宮守 (81)

自転車に関する規定が大幅に変更された改正道路交法が6月1日に施行されました。施行初日の状況が翌2日の新聞に掲載されましたが、警告は依然として「歩道通行」「右側通行」「イヤホン装着」

「携帯電話操作」などの運転でした。

警告件数を減らすための対策として、まず各人が規則を十分理解した上でマナーを順守することだと思えます。さらに自転車を通勤・勤務で利用する人は勤務先が、通学で利用する学生は学校やPTAが、家庭でのみ利用する人は自治会などがPR、指導するのが良いでしょう。

私事ですが先日散歩中

に、イヤホンを付けて携帯電話で話しながら自転車に乗ってきた高校生と接触しましたが、大

事になることなく済みました。その数日後、横断歩道を渡っていた高齢者が、大学生の自転車と接触して死亡した記事を読み、私はびっくりというより激怒しました。

改正道交法を守り、正しい自転車走行を実現し、事故のない地域を築くことが必要です。

妹と私

大和町 山口恵美子 (63)

妹が昨年2度目の挑戦でケアマネジャー試験に合格しました。50歳という大台に乗ったのに、仕事と家庭を両立しながら頑張った合格した妹に心から拍手を送りました。

思えば5年前から「ケアマネジャーになるんだ、絶対なるんだ」と言っていました。「夢はかなう、かなわせる」も口癖でした。

驚いたことに、もう次の目標を定めて仕事に勉強にと、まい進している妹です。子どもも一人前になり、夫の理解もあって合格できたのでしようが、妹のパワーがどこに潜んでいるのか不思議です。

マルチな妹に叱咤(じった) 激励されながら、10歳上の私も日々忙しく動いています。「将来はケアマネの妹がいるから安心だわ」と言つと「甘えてはいけません」とピシッと言われます。なるべくお世話にならないよつ、頭も体も鍛えないと駄目ですね。頑張っている妹を見て、何事もやってみないといけないと、つくづく思います。

猫との暮らしい、楽し

仙台市若林区 関和幸 (71)

この8月で8歳になったメス猫を、もっぱら家の中で飼っている。私にとつて彼女は時に友人

で、恋人で、子どもで、孫で、おもちゃのような存在だ。子どものころに



早朝のカツバ池
(岩手県遠野市)
名取市 内生宏嗣 (75)



やまがた川西ダリヤ園
(山形県川西町)
仙台市宮城野区 尾形和悦 (63)

飼っていた猫の記憶が重なり、遠い昔を懐かしく思い出すこともある。

猫が窓辺にたたずみ、外の景色をじっと眺めている姿は何となく絵になる。草花や木、枝葉、風や鳥や虫の動きなどを眺め、季節を感じているのだらう。俳句の一句でも、ひねっているようにさえ見える。

ある日、彼女がガラス戸を隔て、目の前の庭に飛んできた数羽のスズメを伏した姿勢でじっと眺めている。しっほは、まる

でレッサーパンダの尾のように太くなっている。

私が「何をしているの?」と声を掛けると、彼女は「邪魔しないで!」と言わんばかりの表情。人間と同じ感情を持っていることが、よく分かる。半年ほど前だらうか、テレビで見た外国動物のワンシーン。1匹の犬が幼児に飛び掛かろうとしているのを見た猫が、犬を追い掛けて撃退し、見事に幼児を守ったのを見た。人命救助の猫に感動した。



加美町 板垣篤子 (65)



富谷町 加川師亨 (80)



美里町 沖田捷夫 (70)